中学校音楽指導案

[redacted]

1　題材名　オペラに親しみ、その音楽を味わいながら、聴こう

2　使用する曲名　オペラ「アイーダ」　ヴェルディ作曲

3　題材の目標　オペラの特徴を背景となる文化・歴史、他の芸術と関連づけて理解し、よさを味わうことで生涯音楽を愛好する心情を養う

4　題材設定の理由

(1)　題材観

本題材は、中学校学習指導要領音楽 B 鑑賞ア（音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠を持って批評するなどして、音楽の良さや美しさを味わうこと)、及びイ（音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること）に関する内容である。〔共通事項〕は、音色、旋律、テクスチュアである。

オペラ「アイーダ」は、1871 年にカイロで初演された作品である。この作品は、ヴィルディの作品の中でも、もっとも規模の大きいである。この作品で、ヴィルディは、イタリア・オペラの華麗な旋律を用いながらも管弦楽のバランスを取り、さらに、ドラマと音楽との融合に成功したといわれる。また、フランスのグランド・オペラの様式も取り入れたが､そのままではなく工夫を凝らした 4 幕制を取るなど、独特の作風を実現している。

サッカーの応援でも一部の曲がよく使われているので、初めてオペラを鑑賞する生徒たちにも親しみながら鑑賞できると考えられる。

(2)　生徒の実態

[redacted]

4　題材の評価規準

ア　音楽への関心・意欲・態度	イ　鑑賞の能力
関①　声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりと曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。 関②　音楽の特徴と他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	鑑①　声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 鑑②　知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する、音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして、解釈したり価値を考えたり、根拠を持って批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている

5　題材の指導計画（総時数２時間、本時は１／２時間）

	学習目標	評価規準
1	○声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりと曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。 ○声の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受する。	【関①】 【鑑①】
2	○音楽の特徴と他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。 ○知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する、音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しいを味わって聴く。	【関②】 【鑑②】

6　本時の展開

時間	学習内容	備考	評価方法
導入 10	○めあての確認 オペラに親しみその音楽を味わいながら聴こう ○オペラ「アイーダ」のあらすじ ○オペラ「アイーダ」の登場人物について説明	・オペラ「アイーダ」のあらすじをまとめたDVDを視聴する。 ・	【関①】
展開 35	○オペラ「アイーダ」の第2幕第2場を視聴し、プリントに演奏形態を選び、記入する。 ○オペラ「アイーダ」の第2幕第2場の音楽の要素を感じ取り、プリントに記入する ○グループで発表し、代表者をグループから選抜し、クラスで発表する。		【鑑①】

終末 5	○本時の振り返り		